

北京市 3 人目の輸入性ジカウイルス感染患者を報告 患者は南米帰り

中国網 www.china.com.cn 2016-06-03 11:13:50 来源: 京华时报

昨日 (06 月 02 日)、北京市衛計委は 05 月 29 日、北京市で輸入性ジカウイルス感染患者 1 名が報告されたと発表。この患者は、北京で発見された 3 番目のジカウイルス感染患者となる。

患者は、

湖北省武漢人の姜*さん、31 歳男性。

05 月 21 日 (ベネズエラ現地時間) に発熱が現れ、

05 月 27 日 (北京時間) にベネズエラからパリ経由の航空機により

05 月 28 日 05 時、北京首都国際空港に到着、

入国時には、全身に皮疹を伴う発熱 (脇下の検温で 37 度) があつたが、他に臨床症状はなく、検疫スタッフの初歩調査を経て 120 救急車で病院に転送され入院治療を受けている。

その後、北京市衛計委は専門家グループを組織し、患者の疫学史や臨床症状、実験室での検査結果をもとに、当該患者を輸入性のジカウイルス感染者と診断した。

現時点では、患者の病状は安定しており、一般的な状況はよいが、病院での隔離治療を受けている。

北京市衛計委は、市民に対し、個人の健康防御の角度から、現在ジカウイルス感染症の発生している国への渡航を控えるようにと警鐘をならしている。

北京では、05 月 15 日と 23 日に相次いでジカウイルス感染者の輸入症例が報告されているが、患者は、ベネズエラとボリビアからの帰国者だった。北京市衛計委は専門家を組織し、輸入性ジカウイルス感染者が持ち込む感染リスクの評価を行った、専門家たちは、ジカウイルスは蚊が媒介する感染症で、主にネツタイシマカとヒトスジシマカに刺されることにより感染する。北京市ではこれらのシマカは見つかっておらず、輸入性患者がさらに感染を拡大させるリスクは低いと認識している。

http://www.china.com.cn/shehui/2016-06/03/content_38596354.htm

..... 以下は中国語原文

北京报告第 3 例输入性寨卡病例 患者由南美回国

中国網 www.china.com.cn 2016-06-03 11:13:50 来源: 京华时报

昨天 (2 日)、北京市衛計委通报, 5 月 29 日, 北京报告 1 例输入性寨卡病毒病病例。该病例为北京发现的第 3 例输入性寨卡病毒病病例。

患者姜某, 男, 31 岁, 湖北省武汉人。患者于 5 月 21 日 (委内瑞拉当地时间) 出现发热, 5 月 27 日 (北京时间) 从委内瑞拉乘飞机经巴黎转机, 28 日 5 时抵达首都机场, 入境时检测腋下体温 37℃, 伴全身皮疹, 无其他临床表现, 经检疫人员初步调查后, 由 120 救护车转送至医院住院治疗。随后, 北京市衛計委组织专家组根据患者流行病学史、临床表现、实验室检测结果, 诊断该患者为输入性寨卡病毒病病例。目前, 患者体征平稳、一般状况良好, 在医院隔离治疗。

北京市衛計委提醒市民, 从个人健康防护角度考虑, 近期谨慎前往发生寨卡病毒病疫情国家。

5 月 15 日和 23 日, 北京相继报告两例输入性寨卡病毒病病例, 患者分别从委内瑞拉和玻利维亚回国。北京市衛計委曾组织专家对输入性寨卡病毒病病例带来的传播风险进行了评估。专家认为, 寨卡病毒病属于蚊媒传播疾病, 主要通过埃及伊蚊叮咬感染。北京市监测无埃及伊蚊, 因此, 输入性病例引发传播并进一步扩散的风险较低。